

事業名		コミュニティ活動支援					事業コード	1066010	計画コード	11-1-1			
款	02	総務費			項	08	自治振興費			目	01	自治振興総務費	
所属名(部局・課)		市民環境部				市民活動推進課				担当名	協働推進担当		
施策		11-1	コミュニティ活動の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民・地域活動団体
意図・目的	地域コミュニティ活動が活性化し、新たに地域活動に参加する市民が増える。地域活動団体が自立し、充実した団体運営・事業展開が行える。
活動概要	自治会及び自治会連合会における活動の支援や、コミュニティ協議会における各委員会(美しいまちづくり推進、緑化推進運動、市民ふれあい、青少年問題対策、広報)活動の支援、啓発機材の貸し出し等を行っている。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	コミュニティ活動の満足度	%	—	—	—	50.0	50.0	50.0		
	②	自治会加入率	%	38.1	37.7	37.3	50.0	50.0	50.0		
	③	自治会年平均自主事業	事業	8.7	13.9	—	25.0	25.0	25.0		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	23,816	16,957	15,718		16,511	不用額	
		決算額		千円	22,940	15,390	14,463			1,255	
		財源内訳	一般財源		千円	16,240	13,290		13,463		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	6,700	2,100		1,000		92.0%
成果の説明	令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業が中止となっているが、一部事業は感染対策を講じながら実施した。 【自治会】 自治会補助金:8,811,750円(95自治会)うち、活動あんしん保険事業:483,950円(39自治会)、連携チャレンジ事業:20,000円(4自治会) 【自治会連合会】 自治会連合会補助金4,226,080円 自治会連合会主催事業 ①防犯パトロール:2回(4/10、12/11) ②クリーン・オブ・和光:3回(6/12、11/20、2/26) ③地域防災訓練:1回(6/5) ④地区懇談会:2回(《前期》中止、《後期》2/6・2/10⇒4/27) ⑤広報紙「自治連わこう」発行:2回 【コミュニティ協議会】 コミュニティ協議会補助金:400,000円 コミュニティ協議会主催事業 ①心から感謝表彰:1/25(被表彰者2名) ②つるし雛教室:中止 ③つるし雛展示:11/5～11/13 展示ホール、1/31～2/8展示ホール、2/8～2/24市庁舎1階ロビー、2/24～3/30サンアゼリア大ホールホワイエ ④ハンギングバスケット講座:中止 ⑤わこうっかるた遊び:中止 ⑥あいさつ運動:中止 ⑦広報紙「コミュニティ協議会だより」発行:1回 ⑧和光きもの散歩:中止 【備考】 指標①コミュニティ活動の満足度の令和2～4年度は、市民意識調査がなかったため実績値なしとしている。 指標③自治会年平均自主事業の令和4年度実績値は、7月以降に確定するため実績値なしとしている。										

3. 事業の課題

課題	規模縮小や感染対策を講じながら一部の事業は実施したが、感染拡大防止の観点から中止となった事業もあり、十分な地域コミュニティの推進が図れなかった。さらに、地域活動の中核を担う自治会の加入率についても減少傾向にあるため、今後も継続した自治会及び自治会連合会への支援と地域コミュニティにつながる事業を展開していく。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	感染症の感染拡大状況を注視しながら、安心・安全に配慮し、各事業を再開していく。

事業名		市民まつり						事業コード	1067002	計画コード	11-1-2		
款	02	総務費			項	08	自治振興費			目	01	自治振興総務費	
所属名(部局・課)		市民環境部				市民活動推進課				担当名	コミュニティ担当		
施策		11-1	コミュニティ活動の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民
意図・目的	市民相互の連帯感とコミュニティ活動を醸成すると共に、和光の歴史と文化への理解を深め、新しい文化を創造し、緑と人間の自然な調和の保たれたまちづくりが形成されているようにする。
活動概要	市民のふれあいの場として、市内の市民団体で実行委員会を組織し、市民との協働により市民まつりを実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	市民まつり実行委員会の開催数	回	1	1	6	5	5	5	
	②	市民まつり実行分科会の開催数	回	0	－	8	8	8	8	
	③	来場者数	人	0	－	20,000	14,000	20,000	20,000	
	④	市民ひろばステージでの市内の文化・歴史の紹介数	団体	0	－	4	6	6	6	
	⑤	協賛企業数	社	0	－	78	50	70	80	
費用	事業費	予算額		千円	0	0	8,000		8,000	不用額
		決算額		千円	0	0	8,000		0	
		財源内訳	一般財源		千円	0	0		8,000	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	100.0%
成果の説明	○協賛金額 1,894千円									
	【内訳】 企業 78社 1,680千円 個人・団体 32件 214千円									

3. 事業の課題

課題	市民まつりの来場者が年々、増加傾向にあり、会場内が混雑するため、今後は安全性を考え実施していかなければならない。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	会場内の整備など、出店者側にも協力を求めたり、警備等の強化を図り改善していく。

事業名		コミュニティ施設管理運営					事業コード	1074001	計画コード	11-1-3			
款	02	総務費			項	08	自治振興費			目	02	コミュニティ施設費	
所属名(部局・課)		市民環境部				市民活動推進課				担当名	コミュニティ担当		
施策		11-1	コミュニティ活動の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市内在住・在勤・在学者
意図・目的	市民相互の連帯感を醸成し、心豊かなコミュニティ形成を図り、地域住民の手により、コミュニティ施設の管理運営が行われるようにする。
活動概要	コミュニティセンター4館と地域センター5館のコミュニティ施設において、施設管理を地域住民等で構成された管理協力委員会に委託し、自治会や市民団体などの活動拠点を提供する。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	年間利用者数		人	35,714	47,783	62,452	80,000	71,000	92,000	
	②	団体登録数		団体	971	700	772	900	950	1,000	
	③	施設稼働率		%	14.7	18.3	27.3	21.0	28.0	30.0	
	④										
	⑤										
	費用	事業費	予算額		千円	64,959	65,887	61,988		66,236	不用額
			決算額		千円	59,948	63,883	59,889			2,099
			財源内訳	一般財源		千円	59,699	63,558			59,473
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円	249	325	416	96.6%			
成果の説明	1 利用状況										
	コミセン										
		新倉	牛房	白子	白子吹上	合計					
	回数	471	805	1,127	1,186	3,589					
	人数	3,360	5,576	11,693	6,751	27,380					
	地域センター										
		白子宿	新倉北	本町	南	向山	合計				
	回数	270	1,775	1,804	318	1,391	5,558				
	人数	2,467	15,810	9,457	2,619	4,719	35,072				
	2 団体登録数										
コミセン											
	新倉	牛房	白子	白子吹上	合計						
登録数	52	68	138	78	336						
地域センター											
	白子宿	新倉北	本町	南	向山	合計					
登録数	31	111	171	54	69	436					

3. 事業の課題

課題	コミュニティ施設の団体登録数や稼働率・利用人数がさまざまであり、地域性や特性に応じた活性化を図ることが必要である。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	コミュニティ施設は、地域の活動拠点として必要な施設である。今後も地域の特性を活かした運営を行っていくため、管理協力委員会と協力しながら、安全・安心を最優先とし、コミュニティ施設の維持管理に努めていく。

事業名		コミュニティ施設整備					事業コード	1075001	計画コード	11-1-4			
款	02	総務費			項	08	自治振興費			目	02	コミュニティ施設費	
所属名(部局・課)		市民環境部			市民活動推進課					担当名	コミュニティ担当		
施策		11-1	コミュニティ活動の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市内在住・在勤・在学者
意図・目的	市民等がコミュニティ施設を安全で快適に利用できるよう、施設の整備・修繕等を行う。
活動概要	コミュニティ施設の適切な配置を図るため、施設整備を行うほか、経年劣化による施設本体や設備等の改修・修繕などを計画的に進める。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	工事件数(建物付属設備)	件	5	0	3	3	5	—		
	②	用地確保面積	m ²	0	139	—	—	—	—		
	③	工事件数(造成)	件		1	—	—	—	—		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	4,651	117,127	1,885		10,654	不用額	
		決算額		千円	4,573	116,964	1,883			2	
		財源内訳	一般財源		千円	4,573	77,164		1,883		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	39,800		0		99.9%
成果の説明	○南地域センター エレベーター改修工事										
	○新倉コミュニティセンター キュービクル交換工事										
	○白子コミュニティセンター 漏電ブレーカ交換工事										

3. 事業の課題

課題	施設によっては、経年劣化に伴う機能低下がみられるため、中長期的修繕計画を定め、適切な施設の維持管理を行う必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	コミュニティ施設は、コミュニティ活動の拠点として、また避難所としての施設でもあるため、各施設の老朽化が進むなかで修繕箇所 の検証を行い、優先順位を決め計画的な修繕・工事を実施していく必要がある。

事業名		民生・児童委員活動支援					事業コード	1081001	計画コード	11-2-1				
款	03	民生費			項	01	社会福祉費				目	01	社会福祉総務費	
所属名(部局・課)		保健福祉部				地域包括ケア課				担当名	福祉政策担当			
施策		11-2	地域で支え合う福祉の推進											

1. 事業の概要

事業の対象	民生委員・児童委員
意図・目的	常に社会奉仕の精神を持って、地域住民の立場で相談・援助活動を行い担当区域の住民の福祉増進を図るための体制を整える。
活動概要	低所得者等の生活困窮者、障害者、高齢者、ひとり親家庭等、地域において様々な理由により援助を必要とする住民に対して、福祉サービスに関する情報提供、生活相談、見守り、調査を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度						
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値						
活動実績	① 民生委員定員充足率	%	87	86	78	100	100	100						
	② 定例会出席率(合同・地区)	%	86.1	83.2	91.3	90.0	90.0	90.0						
	③ 民生委員活動(相談)件数	回	7,963	8,334	9,319	8,500	9,500	9,500						
	④													
	⑤													
費用	事業費	予算額		千円	10,930	11,120	11,184		10,807	不用額				
		決算額		千円	8,690	8,830	9,597		1,587					
		財源内訳	一般財源		千円	2,763	3,020			4,193	執行率			
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	5,927	5,810			5,404	85.8%			
成果の説明	民生委員児童委員としての能力を伸ばし、地域福祉の向上を図る。													
	1 民生委員児童委員の人数(定数92人)					2 会議開催状況(※)新型コロナウイルス対策のため中止								
	地区民協別			定数	実数	うち、主任児童委員		会議名			開催回数	出席延べ人数		
	第1地区民協			28	27	2		役員会(15人)			11	155		
	第2地区民協			19	16	2		4地区定例会			48	839		
	第3地区民協			20	17	1		4地区合同定例会			1	63		
	第4地区民協			25	12	2		生活福祉部会(24人)			3	55		
	合計			92	72	7		高齢者福祉部会(24人)			3	54		
	令和5年3月31日現在										児童福祉部会(24人)		3	58
											合同視察研修		(※)	
											その他研修		2	42
											退任式		1	59
											主任児童委員連絡会(8人)		5	29
											合計		77	1,354
	3 会議以外の主な活動内容(※)新型コロナウイルス対策のため中止													
開催月				活動内容						参加状況				
令和4年9月				埼玉県民生委員・児童委員大会						(※)				
令和4年10月				合同民協県外視察研修						(※)				
令和4年10月				赤い羽根共同募金への参加協力(街頭募金活動は辞退)						-				
令和4年11月				和光市民まつり・ゆめあいまつりにおける啓発活動						(※)				
令和4年4月～令和5年3月				保健センター乳幼児健康診査協力						(※)				
令和4年4月～令和5年3月				ひとり暮らし高齢者会食協力						(※)				
令和4年4月～令和5年3月				お達者訪問運動						訪問世帯数 2,092件				

3. 事業の課題

課題	地域に対し、層民生委員活動の周知と理解を図る必要がある。 令和4年12月の一斉改選後に欠員(地区)が増加しており、地域に根差した活動経験のある民生委員児童委員候補者が不足している。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	欠員(地区)には、各種サポーターやボランティア会員など福祉の意欲のある方などの参加を求める。 民生委員児童委員・事務局(社協)・市との連携をより強化しながら日頃の活動を展開していく。

事業名		地域福祉団体活動支援					事業コード	1082002	計画コード	11-2-2			
款	03	民生費			項	01	社会福祉費			目	01	社会福祉総務費	
所属名(部局・課)		保健福祉部			地域包括ケア課				担当名	包括支援担当			
施策		11-2	地域で支え合う福祉の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	和光市社会福祉協議会、保護司会
意図・目的	地域福祉を推進する団体(保護司会・和光市社会福祉協議会)の活動を支援し、地域の人々が互いに支えあい、住み慣れたまちで安心して生活できる「福祉のまちづくり」がされているようにする。
活動概要	地域福祉団体(保護司会・社会福祉協議会)に補助金・負担金を支出し、地域で支え合う体制を整備している。 福祉地域福祉コーディネーターの業務委託を実施することで、「地域づくり」を現場で支援し、会食サービスやふれあいサロンなどを実施している。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	高齢者会食サービス利用者数	人	115	455	433	700	700	700	
	②	ふれあいサロン等参加者数	人	0	1,532	6,784	1,800	5,000	5,000	
	③	高齢者会食サービス回数	回	9	19	19	20	20	20	
	④	ふれあいサロン等開催数	回	0	75	513	40	300	300	
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	38,417	38,576	38,586		38,838	不用額
		決算額		千円	38,415	38,576	38,586		0	
		財源内訳	一般財源		千円	34,794	36,083		36,086	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	3,621	2,493		2,500	100.0%
成果の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施出来ない事業もあったが、各事業活動により、支えられる人も、支える人も緩やかな交流を行っている。 地区社会福祉協議会では、地域福祉コーディネーターを中心に地域住民が必要に応じた自主的な活動として、サロンやラジオ体操・こども食堂など地域住民を巻き込んだ取り組みを行っている。									
	【地域福祉団体活動支援】 1. 委託料 地域福祉コーディネーター委託料 5,000,000円 2. 負担金及び会費 埼玉県更生保護観察協会朝霞市部負担金 586,000円 3. 補助金 社会福祉協議会事務局補助金 33,000,000円									

3. 事業の課題

課題	新型コロナウイルス感染症が収束してきたことから、地域活動を元の姿に戻していく必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今期、ふれあいサロンの開催数、参加者数ともかなり増加したことから、今後も積極的に実施していきたい。

事業名		災害見舞金支給						事業コード		1134001		計画コード		11-2-3			
款	03	民生費				項	05	災害救助費				目	01	災害救助費			
所属名(部局・課)		保健福祉部				地域包括ケア課						担当名		包括支援担当			
施策		11-2		地域で支え合う福祉の推進													

1. 事業の概要

事業の対象	災害により被害を受けた市民
意図・目的	被災した市民に対する福祉の増進を図る。
活動概要	被災者又はその遺族に災害見舞金又は弔慰金を支給する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	見舞(弔慰)金支給件数	件	3	4	2	0	0	0	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	300	300	300		300	不用額
		決算額		千円	160	260	150		執行率	150
		財源内訳	一般財源		千円	160	260			150
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0
成果の説明	火災等発生時において、被害を受けた市民及び遺族に対して、一定額の災害見舞金を支給した。									
	【災害見舞金支給】 火災(半焼) 1件 50,000円 火災(全焼) 1件 100, 000円 合計 150, 000円									

3. 事業の課題

課題	特になし
----	------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今後も、被災者又は遺族に災害見舞金または弔慰金を支給する。

事業名		協働推進					事業コード	1067001	計画コード	11-3-1				
款	02	総務費			項	08	自治振興費				目	01	自治振興総務費	
所属名(部局・課)		市民環境部				市民活動推進課				担当名	協働推進担当			
施策		11-3	協働によるまちづくりの推進											

1. 事業の概要

事業の対象	市民・市民活動団体等
意図・目的	市民活動等が活性化し、新たに市民活動に参加する市民が増える。市民活動団体等が自立し、充実した団体運営・事業展開が行える。
活動概要	市民協働推進センターの協働推進員を中心に、市民活動等についての相談受付、協働事業のコーディネート、市民活動等を担う人材の育成支援、市民や団体の交流の場の提供、市民活動等の情報収集・発信を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	講座等開催回数	回	2	2	4	5	5	5		
	②	市民活動推進課と協働した市民等の数	人	30	70	70	70	70	70		
	③	わこらぼチャンネルへの動画投稿数	件	7	15	7	15	15	15		
	④	協働事業数	件	241	289	357	350	350	350		
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	3,225	3,597	3,985		4,228	不用額	
		決算額		千円	3,117	2,813	3,684			301	
		財源内訳	一般財源		千円	3,117	2,813		3,026		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		658		92.4%
成果の説明	【市民活動支援】（市民協働推進センター事業）										
	(1) 講座・交流会の開催 ①協働推進セミナー 1回(2/24) ②市民活動団体交流会 3回(5/13・11/20・12/16) ※11/20と12/16は朝霞市と共催 (2) 情報発信 ① Twitterツイート ② Facebook ③ YouTube配信 ④ センターHP ⑤ センター情報紙発行										
成果の説明	【協働推進】										
	(1) わこらぼまつりの開催 (2) 市民・団体等との協働 357件(7月頃「協働事業実績調査」結果報告) (3) 跡見学園女子大学の学生と協働(わこらぼ登録団体紹介冊子の作成)										

3. 事業の課題

課題	団体のニーズにあった講座の開催や、市民活動団体交流会を開催することで団体の活動支援につなげる。また、わこらぼまつりの開催により、協働の新たな担い手の発掘や様々なつながりを創出する事業を展開する。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今後も団体の活動支援及び協働の推進を図る。

事業名		国際交流推進						事業コード	1016501	計画コード	11-4-1		
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	08	企画費	
所属名(部局・課)		総務部				総務人権課				担当名	文化交流担当		
施策		11-4	国内外の交流と多文化共生の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民、外国人、国際交流・協力を行っている地域団体、市内の学校や企業等
意図・目的	多文化共生の意識を広める。
活動概要	①国際化交流〔協力〕活動を推進し、交流会や多文化共生に関するイベントやワンナイトステイ事業を実施する。②姉妹都市をはじめとする海外都市との交流の促進を図る。③外国人、日本人が交流する機会や場を提供する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	国際交流イベント参加者数	人	13	9	24	12	14	14		
	②	和光市国際ネットワーク構成団体数	団体	8	8	8	9	9	9		
	③	ワンナイトステイ事業実施数	回	0	0	1	2	2	2		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	104	14	4		870	不用額	
		決算額		千円	0	0	3			1	
		財源内訳	一般財源		千円	0	0			3	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0	75.0%
成果の説明	第三次和光市国際化推進計画に基づきワンナイトステイ事業(日本語国際センター主催)のホストファミリー幹旋、ロングビューウィーク等の事業を実施し、国際化を推進する。										
	(1)和光市国際ネットワーク会議 ・第1回会議 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため書面議決とした。 ・市民まつりへの参加 日程:令和4年11月13日(日) 内容:和光国際交流会、Mama&Kids子育て日本語Classと遊びの文化交流会によるパネル掲示、外国製のおもちゃの展示・体験										
	(2)ワンナイトステイ事業 日本語国際センター主催のホストファミリー幹旋1件 日程:令和4年10月29日(土)～10月30日(日) (3)姉妹都市 ロングビュー市との交流 ロングビュー市から、ロングビュー市姉妹都市委員会委員、ローワコロンビアカレッジの学長を受け入れ、市内高校や和光姉妹都市交流会との交流の場をもった。										
【続きあり】											

3. 事業の課題

課題	市民、地域団体、企業、研究機関などと連携し、国際化を推進していく必要がある。また、姉妹都市であるロングビュー市の周知を引き続き行っていく必要があるとともに、市民間での交流をさらに進めていきたい。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	国際化ネットワーク参加団体等を通じて地域と連携し国際化を進めていきたい。また、姉妹都市との交流機会を増やし市民の国際理解につなげたい。

(4)ロングビューウィークの実施

日程:令和4年9月8日(木)～9月14日(水)

場所:和光市民文化センター 展示ホール

内容:

①パネル展示

ア ロングビュー市の紹介

イ ロングビュー市への訪問、ロングビュー市からの訪問団受入時の様子

ウ 令和3年度オンライン交流の様子

エ 和光姉妹都市交流会から借用した記念品や資料

オ ロングビュー市民からいただいた記念品や資料

②Longview Adventure!

ア わこう英会話カフェ

英会話のレベル別にテーブルを設け、英会話を実施した。

イ ロングビュー市体験者による発表会

和光姉妹都市交流会の会員を中心に、ロングビュー市訪問体験談を発表した。

(5)外国籍住民のための話し合いの場（OPEN DAY）の実施

日程:令和4年10月23日(日)

場所:南公民館

内容:外国籍の市民との地域交流に向けたプラットフォームづくりのための、やさしい日本語での話し合い

参加者数:24人

事業名		外国人生活支援					事業コード	1016510	計画コード	11-4-2			
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	08	企画費	
所属名(部局・課)		総務部			総務人権課					担当名	文化交流担当		
施策		11-4	国内外の交流と多文化共生の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民、外国人、国際交流・協力を行っている地域団体、市内の学校や企業等
意図・目的	外国籍市民の生活上のさまざまな問題が解消され、外国人にも暮らしやすい環境が整備されているようにする。
活動概要	①外国籍市民の意見・要望を把握するための機会を整備する。 ②日本語学習機会の提供を進める。 ③重要な行政情報、生活情報をホームページ等で提供する。④多文化共生ボランティア制度、災害時通訳・翻訳ボランティア制度を運用する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① ボランティア登録数	人	98	101	106	115	120	120	
	② ボランティア活動数	回	2	0	2	5	5	5	
	③ 子育て通訳サポート件数	回	2	6	3	15	20	20	
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	677	437	437		462	不用額
	決算額		千円	363	430	429		8	
	財源内訳	一般財源	千円	3	3	429		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	360	427	0		98.2%	
成果の説明	(1)和光市多文化共生ボランティア 令和4年度活動 ・マイナンバーカード(個人番号カード)お受け取りのご案内(戸籍住民課 翻訳 英語・中国語) ・午王山遺跡整備事業地権者への国指定史跡の案内文書(生涯学習課 翻訳 英語) ・多文化共生ボランティア登録者数 68名(令和5年3月31日現在) ・災害時通訳・翻訳ボランティア登録者数 38名(令和5年3月31日現在) (2)多文化子育て支援事業 特定非営利活動法人わこう子育てネットワークへの委託事業として、子育て通訳サポートを行い、令和4年度は3件実施した。 ・第四小学校入学式(令和4年4月8日 中国語) ・第四小学校個人面談(令和4年5月10日 中国語) ・広沢小学校懇談会(令和4年7月15日 中国語)								

3. 事業の課題

課題	市だけでなく、地域団体等と連携を図りながら多文化共生に向けた事業を進めていきたい。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	ボランティアや地域団体の協力を得て、市内に住む外国籍住民が安心して暮らせるまちづくりについて推進していきたい。

事業名		地域間交流					事業コード	1017702	計画コード	11-4-3			
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	08	企画費	
所属名(部局・課)		総務部			総務人権課					担当名	文化交流担当		
施策		11-4	国内外の交流と多文化共生の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民、和光市、友好都市（長野県佐久市、新潟県十日町市、栃木県那須烏山市、埼玉県東松山市）及び相互交流宣言を行った都市（埼玉県小川町、埼玉県東秩父村、埼玉県寄居町）
意図・目的	異なる文化や風土、離れた立地などを相互に活用及び補完し、協力し合える関係を築く。
活動概要	市民が友好都市等との交流事業を実施する際に、友好都市等との調整を図り、交流事業を支援する。また、友好都市等及び交流の取組の情報を広報紙やホームページを活用し、適切に市民に周知する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 新たな交流事業数	事業	0	0	1	2	2	2
	② ホームページ訪問者数	人	1,512	1,378	1,406	2,000	2,000	2,000
	③							
	④							
	⑤							
費用	予算額		千円	8	8	8	8	不用額
	決算額		千円	0	0	7		1
	財源内訳	一般財源	千円	0	0	7		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0		87.5%
成果の説明	(1)友好都市との交流 佐久市とマレットゴルフ、十日町市と少年サッカーの交流事業を行った。 このほか那須烏山市及び十日町市と少年野球、少年サッカー、ミニバスケットボールなどの交流事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止となった。また、市民まつりへは新潟県十日町市、長野県佐久市、埼玉県東松山市が出店し、特産品を販売した。 (2)2町1村との交流 平成29年1月に相互交流の共同宣言を行った小川町、東秩父村、寄居町との交流事業を通じ交流を図った。 例年イベント出店等の交流事業を行っているが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止となった。 市内小学校の児童が小川町に社会科見学に行き、紙すき体験等の体験学習や展示物の見学を行った。 新たな交流事業として、「わびあ」わいわい広場に小川町、東秩父村、寄居町で作成された木製ベンチを設置し、オープニングイベントで披露した。							

3. 事業の課題

課題	2町1村の交流に関しては、担当者会議において事業費をかけないで交流事業を検討することとしている。和光市民は観光等で2町1村を訪問し市民まつり等のイベントブースにおいて2町1村のことを知る機会があるが、2町1村の住民に和光市のことを知ってもらう機会があまりないため、工夫が必要である。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	友好都市と今後も同様に交流を行い、多くの市民に知っていただく。2町1村との交流については、小学生の社会科見学で和光市の施設を見学してもらうなど、和光市に来てもらう仕組みを検討していく。